

経済建設常任委員会要点記録

日 時	令和6年5月29日	開 会	13時30分	会議時間
		閉 会	14時49分	1:19
場 所	第1委員会室			
出席者	武藤委員長・松島副委員長・川原委員・川股委員・早坂委員・吉永委員・柏野委員 傍聴議員：矢野議員、小林議員			
説明者	副市長、経済部長、水道部長 外12名		傍聴者数	0人
事務局	議会事務局長、同次長、同主査		記 者	1人

会議の経過事項

上山商工労働課長 柏 野 委 員	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。 人事異動後初の委員会のため、異動のあった課長職の自己紹介を行う。</p> <p>●日程1. 閉会中の所管事務調査事項について 資料説明 1) 企業誘致について 資料説明 2) 人材確保計画の現状について</p> <p>【質疑】</p> <p>① 企業誘致の取組の中で、今回企業誘致に係る基本方針のお示しがありました。資料3ページを見ますと、基本的な方向性として、地域未来投資促進法に基づく恵庭市基本計画第2期という表記があります。これまで経済建設常任委員会でも基本計画の説明をお聞きしたことはなかったと思いますが、この基本計画というのはどこにあるのかということと、今回第2期ということで見直しをしたようですが、何が変更となったのかお聞きします。</p> <p>② 人材確保計画について、課長の説明の中ではこれまでの委員会などで意見があったものについては見直しを検討というご報告でした。前回の委員会で私3点質疑をしたんですが、お聞きをしてたのは障がい者の部分と氷河期の部分と女性デジタル人材という3点について質問をしていて、今回氷河期の部分について、ハローワークの取組を周知していただけるというの非常にありがたいと思っていますが、障がい者の部分に関しては、今後外部委員会や府内委員会等で議論を重ねてという答弁があったと思います。これまで障がい者就労に関しては、保健福祉部で自立支援協議会ですか、いろいろと障がい者雇用に関する取組は議論をされてきたと思いますが、今回お示しいただいた主なものというところでは記載がないものですから、その後どのような検討や議論がされたのかということと、今年度はどういった事業を予定されているのかを改めてお聞きします。</p> <p>③ 女性デジタル人材についての前回の質疑では、総務部と協議をして掲載する方向で進めたいというご答弁いただいたと思っています。今回3月に成案化された第3期人材確保計画を拝見しましたが、記載が変更になった箇所が私はなかったと認識したのですが、その協議と検討の経過についてお伺いします。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

上山商工労働課長	<p>① 第1期の計画が今年度6月末までの計画になっており、現在、国に第2期の基本計画の修正について申請を出しているところです。こちらが承認された後に基本計画は、国で同意されたということになって、第2期の計画ということになります。なった段階でお示ししたいと思いますが、主な変更項目として、この基本的な方向性の1から6まで記載していますが、6番について第2期から追加したとご理解いただければと思います。</p> <p>② 今年度の庁内委員会の結果について、庁内機関で障がい福祉課から出していただいた資料によると、農福連携事業の継続、それからe-ふらっとの設置により就労相談、就労支援事業の実施ということでいただいており、年間1,200から1,500件程度の相談実績があると伺っていますので、こういった事業の継続ということで報告を受けており、そのように認識をしています。</p> <p>③ 第3期の計画に、資料でいうとA3版の、関連する事業と計画に対応する具体的な事業という表があり、そちらに新たに追加しています。計画書をお持ちでしたら、計画に対応する具体的な事業の39番に掲載しましたので、これに基づき事業を検討している最中です。具体的な協議については現在総務課と進めていますので、何か新たな事業ができないか協議をしているところです。</p> <p>④ ①第1期の計画が6月末までだということ自体、私は十分に承知していなかったのですが、平成29年に最初の計画がつくられてから割と頻繁に計画の変更が行われていると思います。ただ、この間、地域未来投資促進法に基づく基本計画の説明が無かったと思いますし、今回6月末で第2期に切り替わるということで申請している段階にもかかわらず、策定の過程が委員会に報告が無かったと思いますが、なぜ報告をしないのかということと、今後策定段階から示していくべきだと思いますが、その点についての考え方をお聞きします。</p> <p>⑤ ①第1期計画概要版の3月22日時点で変更になったものを拝見しており、その時点では⑥番の記載がなかったのは確認していました。これが加わったことで、計画全体として、ほかにどのような変更が発生しているのか伺います。</p> <p>⑥ ①基本計画の第1期では、土地の利用調整は行わないという記載が、項目8番にあったと思いますが、この土地の利用調整に関しては、2期の今申請しているものではどのような考え方をとっているのかお聞きします。</p> <p>⑦ ②障がい者に関して、これまでどおり農福連携や、e-ふらっとにおける就労相談を継続していくということです。これまでも指摘していますが、今農福連携も若干頭打ちのような状況にあるということと、そういった取組によって、例えば市役所の障がい者雇用率がなかなか上がっていないことや、現状として足りないという指摘をしています。それを考えたとき、何か転換なり新たな取組をしない限りは、障がい者雇用が地域の中で人材確保に繋がるものにはならないと思いますが、令和6年度の新たな取組をお聞きします。</p> <p>女性デジタル人材に関しては、大変申し訳ありません。私新しい計画をダウンロードしていたのですが、少し小さくてA3版の表の39番、完全に見落としており、全部比較したつもりでしたが、見落としてしたのでその点直していただいたということについては感謝します。</p> <p>④ この基本計画は法に基づくものですので、なぜ出さなかつたのかということ</p>
上山商工労働課長	

柏 野 委 員	<p>については答弁が難しいところではありますが、基本的には法に基づくもので、そのように理解して計画策定は進めていたというところです。</p> <p>⑤ 千歳市のラピダスの工場の建設等に伴う関連企業の進出が見込まれることから、その影響が出てくるのではないかというところです。</p> <p>⑥ 新たな計画でも土地利用の調整は行わないということで、計画書の提出を国にさせていただくことで進めています。</p> <p>⑦ 障がい福祉課と協議させていただければと思いますが、基本的には各課の取組という部分がありますので、私どもから障がい福祉課に、新たな取組については働きかけ、照会させていただければと思います。</p> <p>⑧ ④地域未来投資促進法の計画ですが、法に基づくものということです。ただ法に基づくものですが、地域の中で基本計画をつくり、それに基づいて税の減免という手続きをしていますよね。今回企業誘致の基本方針を定める上でも、方向性としては計画に基づいて基本方針を定めていると思います。その内容が悪いとかいいとかではなく、まちづくり基本条例の趣旨や、民意に基づく形で事業や地域経済の振興を進めていくのであれば、やはり計画は示していただく必要があると思いますし、平成29年に策定してから既に4回計画の変更を行っていますから、ぜひとも委員会で示した中で、委員や市民の意見を踏まえ、まちづくりを進めていただければと思います。その点について答弁願います。</p> <p>⑧ 計画ですので今後については議会にも報告するなり、そういった対応をさせていただければと思います。</p>
嘉屋経済部次長	
早 坂 委 員	<p>① 企業誘致について、未利用地の状況で売却の意向ありが9件とありますが、先ほど土地利用の調整は行わないと言われたのですが、売却の意向のある会社への調整をしないということなのか伺います。</p> <p>② 人材確保計画で、札幌圏における奨学金返還支援事業で登録企業の募集も掲載しているのですが、市内に登録企業数が14社ということで、これに登録するためには資本金がいくらとか、そういう条件があって登録数が増えていない状況なのですか。</p>
上山商工労働課長	<p>① ここでいう土地利用の調整とは、未利用地の売却とかそういう意味の調整ではありませんので、実際に未活用の土地、9件あるというのは別物だとご理解をいただければと思います。</p> <p>② 奨学金返還支援事業は、基本的に中小企業が対象になりますので、大手の企業は対象にならないというのがまず一つあるのと、こちら就職して2年目から4年目にかけて18万円を上限に3ヶ年ということですので、54万円分の支援が受けられるのですが、基本的には登録した企業がこの制度を使うときに、半額、2分の1、要は上限9万円になりますが、その分を寄付してくださいというお願いがされるということもあって、そういった部分でなかなか企業として、良い制度なのは理解してるけども、9万円出せるかという悩みがあるということも、事務局を担当している札幌市からは伺っています。</p>
早 坂 委 員	<p>③ ①売却意向のある9件の企業、これに対する対応は、今後市としてはどのようにやっていくのか伺います。</p>

上山商工労働課長	<p>③ いろいろ企業も考えがあり、例えば、面積、企業名を公表していいという企業もあれば、市役所に問い合わせが来て、市役所の紹介だったら話を聞くというような、9件全てが情報として世の中に出てるわけではない部分もあり、こちらについては、市で情報を持っており、引き合いが来た際に条件に合いそうなところを紹介して、うまくマッチングすれば売却に進んでいくこともありますが、面積や土地の形、そういった部分でなかなか、あとはこういう企業にならいいとか、いろいろ条件がついてる場合がありますので、私どもも積極的にマッチングはしていますが、なかなかこの部分がうまくはまらず売却に繋がらない事例が多いのが現状です。</p>
川 原 委 員	<p>① 企業誘致について、今回の報告は前も受け取めていただいているが、ちょっと気になるのは、恵南工業団地にカット野菜の進出が、売却されているということで、まだ工場が着工されてないような流れ、その辺はどんな流れになっているのか確認をしたいと思います。</p> <p>② 前回のアンケートでいろいろ調査をされて、14社と17社という形で意向があるということが出ていますが、その方に対するアプローチは、以後恵庭市ではどのような対応をとられているのか確認します。</p> <p>③ 人材確保計画ですが、心配しているのは、恵庭市の人団地の人口、どうなっていくのか、今回教育委員会から、1年生の入学者、8校小学校ありますが、恵庭市で小学校に入学される子が過去5年間どんな状況なのか聞きました。そうしますと、令和2年では、1年生は622人、令和3年は590人、令和4年が599人、令和5年が541人、令和6年が574人ということで、やはり人口減少というのは如実に下がってきていると感じます。少しでこぼこはありますが、基本的に人口が減ってくるというのは、子どもたちが少なくなるということはそういうことだろうと思っています。基本的にブラックホールといって、各地方から人をどんどん呼んで、地域間競争して人口を確保していくこともあるんでしょうが、それではやはり先づまりがあるのは間違いないと思っています。この現実に恵庭で出生して、小学校に行っていただいて、将来大人になって仕事をしていただく、まちをつくっていただく人たちがだんだん減ってくるのはこのように如実に出てきてくる、これはこの人材確保計画に直結する問題ではないかと思っています。人材確保計画を見ますと、3年スパンで計画がされていますが、その中で、長期的スパンで、恵庭の働き手、その人材確保、その長期的な10年スパン、20年スパン、だいぶ先の話で載せないというのは理解できますが、子どもたちが増えていかないのであれば、どうやって確保していくんだという、そういうスパンの確保の未来像も計画の中にはあってもいい、3年スパンでなくやはり10年、総合計画と同じような10年スパンのものも位置づけはあるべきではないかと思いますが、それについての考え方をお聞かせください。</p> <p>① 工場につきましては、当市では現状については把握していませんので、答弁は難しいということでご理解いただければと思います。</p> <p>② 資料にも一部書いていますが、企業への訪問、ヒアリングなどを今年度行い、</p>
上山商工労働課長	

	<p>可能性の精度を上げていきたいと考えているところです。</p> <p>③ 人材確保計画は、総合計画や総合戦略の下部計画という位置づけで、人材確保計画はあくまで総合計画や総合戦略に基づいた計画ということですので、あくまで総合計画や総合戦略を実施するための計画だとご理解をいただければと思っており、こちらに10年スパン、20年スパン、これは役割分担の関係から総合計画であったり、総合戦略などで記載するべきものなのかなと考えていますので、そのようにご理解をいただければと考えています。</p> <p>④ ②それではこの14社とも意向があると返答いただいたところには訪問し、恵庭市の今の姿勢、考え方、これからやろうとしていることについてアプローチをしていくという形で繋ぎ止め、手をこまねいているわけではないので、現状が今ないだけの話で、アプローチをしていくということでおろしいですか。</p> <p>⑤ ③地域未来投資促進法の重点となる要綱ということでは、恵庭市人材確保計画の推進ということですね。これは大変重要なことだと思いますが、前の人材確保計画のアンケートを見ましても、人材がいないということが非常に企業が苦慮しているということですので、今回改めて、人材確保計画を推進して企業誘致をしていくことについて、人材確保がこれから行く見通しはどう捉えているのか、考え方をお聞かせください。</p> <p>④ 各企業へのヒアリングについては、今委員お話していたとおりで私どもも認識していますので、その辺の認識は一致していると思います。</p> <p>⑤ 前の担当の記録を見ると、例えば補助金が企業誘致の一番の肝だった時代ももちろんありますが、最近企業とお話をすると、例えば恵庭市に進出したはいいけど、人を雇えるのかというのは率直に聞かれる場面がかなり多くなっているのは現実にあります。その見通しですが、北海道という枠の中では、ありがたいことに、人口がまだ増えている市ですので、そういった部分については、まだ人材確保できるだろうと、ただ何もしなければ、今後できなかつたということは予想されますので、もちろん何もしないでただ手をこまねいているつもりはありませんが、ただ恵庭が置かれている現状などを活かしながら、人材確保については打てる手は打っていきたいというのが所管の考え方ということでご理解いただければと思います。</p> <p>⑥ ④現在4,000社等にアプローチをかけ、14社、17社という形で確保された、次のステップも、何か考えたほうがいいのではないかと思います。誘致企業に対するステップ、今までではやりました。だけど次それはそれでアプローチかけていきますから、別の方面で集中的に何かを対応していくとか、そういう考えはないか確認します。</p> <p>⑥ 現状の取組については資料にまとめたところですが、新たな取組についても、委員会でのご意見などを踏まえながら検討し、公表できるものができましたら速やかに公表し、ご意見を頂戴できればと考えています。こちらについても、今までの前例踏襲ではなく、新たな取組、そういったものも、案などを示しながら、ご意見をいただければと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
川 原 委 員	
上山商工労働課長	
川 原 委 員	
上山商工労働課長	

日程1. 閉会中の所管事務調査事項について終了。

廣瀬花と緑・観光課長 川 原 委 員	<p>●日程2. 報告案件について（経済部） 資料説明 ①恵庭市公式LINEを活用した写真投稿プロモーションの実施について</p> <p>【質疑】</p> <p>プロモーションの件、実は私も何回も投稿させていただき、非常にいいことだなと思っていますが、だんだん人の投稿したのを見て、あ、これはどの場所だなと思うのですが、何か虚しくなってきました。というのは、コメントがないだとか、いいねのポイントがない、何かその辺の投稿した出来高というか、どういうものがあるのかわかりませんが、何か虚しさを感じてきていますが、やはりせっかく投稿したのですから、私もほかのも見るのですが、何か虚しくない方法はありませんか。投稿者の一市民として虚しさを感じるようになってきましたとお伝えして、何か考えあれば教えてください。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>投稿については、LINE上の投稿ということもあります、一方的な投稿になっていますので、インスタグラム等であれば、いいですねとかコメント入力する、レスポンスを返すことは可能ですが、なかなかシステム上難しいということで、この方式をとらせていただいていることをご理解いただければと思います。</p>
早 坂 委 員	<p>投稿された写真の中で、年に1回表彰するとか、何かできないのでしょうか。一番良かった写真とか、そういう結果を出すというか。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>投稿件数が108件ありましたが、そのための審査委員会や、審査の基準、何が良かったかですか、花の状況も含め、どのような手法でやっていいのかというのが、現段階において、進め方についてなかなか返答が難しい状況です。ただ先ほどのコメントの件もそうですが、どのような評価しているのか、皆さんいろいろ気になることもあるのですが、LINE上ではそのようなシステムがないため、一方的になっているということをご理解いただければと思います。</p>
柏 野 委 員	<p>① 今回の事業の目的は何なのかお伺いします。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>② 目的ということに対して、今回投稿が108件ということですが、その期待した効果というものは得られたと評価をしているのかお聞きします。</p> <p>① 目的ですが、今までホームページ上で開花、例えば、自由広場、桜のダム下の自由広場の開花情報は公表しています。LINE上でこのようにタイムリーに公表することにより、今どこでどのような花が咲いているかということが見えるということもありまして、LINEでの登録を始めたところです。</p> <p>② 効果については、なかなか測れることではありませんが、見たと、いらっしゃった方が、同じような場所にいて、このような桜があるということを共感していただいているのではないか、想像でございますけども、というふうに考えているところです。</p>
柏 野 委 員	<p>③ ①②目的をもう一度お聞きしたいんですが、今までホームページ上で公表していたものがタイムリーに見られる、タイムリーなのはいいですが、誰に対して見てほしい、どういう目的を持って見て欲しいものなのかというところが</p>

廣瀬花と緑・観光課長 柏 野 委 員 江 川 経 済 部 長 川 股 委 員	<p>私はずれているのではないかと思っています。観光プロモーションで誘客したいとか、花が咲いてるから今市外の人に見に来てほしいということをもし目的にするならば、このクローズドなLINEというシステムの中で、それがタイマーにいくら投稿されたとしても、そもそも恵庭に関心のない人には届かないわけですよね。だとすると、その目的に対して期待した効果が得られたのかという評価すらできないと思うのですが、だからそれが目的として市民が今咲いている花を見てもらいたい、市内周遊をしてもらいたい、コミュニティづくりをしてほしいということであれば、LINEというシステムが良かったのかもしれないんですけど、市外の人に対しての観光プロモーション、花と緑・観光課がやっている事業という趣旨でいうのだとすると、私はずれているのではないかと思っていて、何らかの、アプリケーションを変えるだとか、変更が必要なのかななと思いますが、そこまで含めてご答弁を願います。</p> <p>③ LINE登録については、友達となっていて、約8,300人現在おりますが、市内市外、いろいろな方がいると思います。市内が多いのは十分承知しておりますが、市外の方もいると思います。あわせて、確かに内向きというお話もありましたが、現在ホームページにおいても、桜の開花情報は継続して載せており、市外からそのホームページを見ている方または市内の方が市外の方にこの桜の、このような景色がありますよというお話をしていただきなど、何かしらの効果はあると考えていますので、進めていきたいと考えています。</p> <p>④ ③何かしらの効果で続けていきたいということですが、先ほど川原委員もお話をされたように、せっかく市民の方が投稿をしていただいても、それが本来伝えたい市外の方に届いていないとしたら、私やはりそのツールを変えなければいけないと思います。この間恵庭市としては様々SNSもやってますし、それこそ観光アプリ、えにわっかというアプリをつくってやっているにもかかわらず、今回えにわっかの中ではここに対してリンクはしているものの、うまく連動していない状況になっていて、せっかく位置情報も含めて投稿していただけるのであれば、それがインスタグラムなり、ほかのSNSで見たときに、恵庭に行ってみたいと思ってもらえるような、発展するような投稿の活かし方をしていただけると、川原委員が先ほど指摘されていた虚しさというものを解消するし、恵庭市としてこれを観光事業として進めるべき効果が得られていくのではないかと思いますので、そのような発展をするような仕組みになるように秋は期待をしております。ご答弁あればお願ひします。</p> <p>④ 先ほどの川原委員のおっしゃった内容、柏野委員のおっしゃった内容も踏まえて、私どもとしましては、このプロモーション事業をLINEを活用したその事業を誘客、集客、これまでも様々な事業に取り組んできておりますが、こういったことも誘客、集客の一つのアイテムということで、これから発展的というお話もありましたが、そういうことも踏まえ、どういった効果が出るのか、その辺も見極めながら、変更が必要であれば発展的な考え方ということを受けとめてまいりたいと考えています。</p> <p>川原委員、柏野委員からそれぞれお話をありました。一部報道機関でも話題</p>
-------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>になってますけど、富士山を背景にしたコンビニエンスストアに外国人の方々が非常に興味を持たれて写真撮影に来ると、ある意味嬉しいけど、ある意味迷惑だと。しかしながら、まちが賑わっているのは間違いない。賑わっているものをどのように利用するか、まちの考え方次第、それは民も官も含めてだと思います。今LINEでこれを始めたことについては、一つのアイテムとして、部長がおっしゃったように、それで構わないと思います。桜であれば、どこの桜が今一番早く咲いていると登録した市民には分かり得て、そこに行くという行為に繋がるということですね。それをさらにグレードアップして、これを利用して、著作権はどちらなのか。作成者か、それとも投稿したら市のものなら、その辺りを整理しながら別の情報に載せ替えて広げていくとか、方法はたくさんあると思います。このあと秋に、その紅葉について同じようなことがあるということです。であれば、恵庭の魅力、我々一生懸命考えて、盤尻だとか、いろいろなことを言っているけども、意外と私達が知らない恵庭市の中に魅力と思われるものがあるのかもしれない。それは市民目線でこういったスマホのショットの写真で集約してもらって、その中から選んで、広く発信していくような方法の一つのツールとして、今後発展的に使っていったら良いと思いましたので、駄目押しにお話させていただきました。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>著作権ですが、実は著作権がありません。あくまでも登録していただいて、著作権を確認していないものですから、期間限定で流しているものですということで、アーカイブ、記録写真についても、次の花に移行したときには消えるような仕組みにしていますが、ただ先ほど説明しました位置情報については、必ずではないですが、GPSを利用して位置がわかるため観光情報として、委員おっしゃった必要な素晴らしい景観がありましたら、職員が直接そこにお伺いし、写真を撮って観光プロモーションに使うことなども検討していかなければならぬと考えているところです。</p>
	<p>経済部の報告案件について終了。</p>
	<p>(出席者入替え)</p>
長谷上水道課長	<p>2. 報告案件について（水道部） 資料説明 ②緊急貯水槽整備工事について</p>
柏野委員	<p>【質疑】 市民会館前の通行止めが長期にわたるということで、駐車場の出入口がこの4ヶ月間に關しては1ヶ所になるということですが、その間安全対策とか流入対策とかを請負業者には何か求めているのかということを確認します。</p>
長谷上水道課長 柏野委員	<p>業者には、あくまでも通行止めということなので、常に交通誘導員を配置することはできませんが、通行止めの出入口は看板等を設置したり、進入に関しては、駐車場への案内の看板を設置するなど、そういう対策をする予定です。 現状、求めていないのであれば、事業者にとっては追加の負担は難しいと思</p>

長谷上水道課課長 柏 野 委 員 長谷上水道課課長 武 藤 委 員 長 長谷上水道課課長 武 藤 委 員 長 長谷上水道課課長 武 藤 委 員 長 江藏水道部次長	<p>うのですけれども、ただ現実的には市民会館で大規模な事業があるとき、入口側、出口側にも交通整理の人が立っていても、結構混雑ひどいときがあると思います。それを考えると、片側だけになったときに、多くの利用される市民がスムーズに出入りできる対策が、事業者として無理であれば、市役所として何か対策必要ではないかと思いますが、その点だけお願ひします。</p> <p>市民会館側と、工事については事前に説明しており、大きな事業がありましたら、それについては市民会館側で周知するなり、対策を取る、何らかの周知をしたいという話は聞いております。</p> <p>市民会館としてもそうですが、市役所の庁舎管理としても必要なところと思います。ただ年度末や年度初め、確定申告とかそういう時期ではないので、どれほどというのはあるにせよ、やはりそこは状況を見て、必要性があると判断したときには、庁舎管理のほうでもそういった対応をとる必要があると思いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>状況を確認しながら、必要であればその対策についても検討していきたいと思います。</p> <p>(委員長と副委員長交代)</p> <p>市民会館で美術協会だとか、いろいろイベントがあるときに、絵などを搬入しますが、車は進入できなくなるでしょう。通れますか。</p> <p>図面に詳しくはそこは書いていませんが、市民会館前の正面玄関のスロープ、そこにアクセスするための通路というか入口は設けることで考えています。</p> <p>この図面の赤いところが道路を塞いでるものだから、この表現だと車が全く入れないと思ったから質問したのですが、ここは入れるのですね。そうするとこちらの出口は出入りできるということですね。</p> <p>このスロープを使うことになりますので、反対側の市役所側も出入口は設けて一方通行できるように確保したいと思っています。</p> <p>わかりました。図面は全面的に赤く塗っているものだから、出入口両方赤くなっています。これだと誤解を受けますよね。車は進入できないから、搬入もできなくなるから、そういうことであれば市民に周知するときは、その辺わかるようにしていただければよろしいかと思います。</p> <p>補足といいますか、説明させていただきますが、基本的にはここの通路ですけども、今対面で通れるようになっていますが、工事中は、クレーンを置いたり、あの資材を置いたりで、どうしてもスペースが必要になるものですから、どうしても止めなければならないことになってます。期間については7月から11月で予定してますけども、極力早く上げて、ここは開放することで考えてますので、最大その期間と考えます。あとこの通路の部分ですが、基本的には正面玄関は使えるということで、これから広報に掲げる情報の中には、そういったこともお知らせしようと思っています。ただ、ここを通れることにしてしまうと、今言った通り、正面のスロープのところを通過していく車が出てくる恐れがあるものですから、あくまでも我々としてはここの部分は完全に</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>通行止めと、基本は通行止めということで運用することを考えてます。ただ、今言われたような、資材を搬入したり、あるいは営業車が入るような場合は、ここから玄関に入れますということは表示はしますけども、基本的にはここは前後通行止めということで運用しなければ事故になるものですから、そういうことをしていこうと今考えています。</p>
	(副委員長と委員長交代)
早坂委員	
長谷上水道課長	<p>この貯水槽を作って、今度実際水を利用するときは、近くに給水車を持ってきてその給水車に水をこの貯水槽から入れて使うことになるんでしょうか。</p>
早坂委員	<p>この緊急貯水槽の運用については、緊急貯水槽自体も水道管の一部でございます。ですから市役所前駐車場の前に水道管が通っていまして、そこから水道管で引き込んで貯水槽に繋がって、それからまた水道本管に戻るという形になっており、貯水槽自体が水道管になっています。ですから、通常はそこは水が流れている状況にあります。地震などで漏水等が発生したときに、水圧の関係で緊急遮断弁が働いて、水道管と切り離されて、一つの貯水槽になります。</p>
長谷上水道課長	<p>この貯水槽の水を使う範囲、エリアは何か限定されるのでしょうか、市役所周辺とか。</p>
川原委員	半径1キロの市民の方々を想定しております。
長谷上水道課長	<p>水道管の入るところと出るところが、この絵から見ると左側ですが、心配してるのは淀みができるのではないかと、水の循環が飲み水として機能するように、入るところと出るところが同じ方向であれば、何トンもありますよね。奥のほうにポンプはついてるようですが、循環はどのように対応されるのか、長時間にかかりますので、その辺心配しているのですが、いかがでしょうか。</p>
川原委員	<p>絵でわかりづらいのですが、接続配管の流入と、接続配管の流出です。緊急貯水槽に向かって接続配管流入というラインと、緊急貯水槽接続配管の流出というところがあると思いますが、排水本管150ミリから取り出しますが、その排水本管のところにバルブがついており、そのバルブは通常は止めてあり、閉まっています。だから一方向に流れることになります。</p>
長谷上水道課長	<p>先の答弁の中に、水道管の中が膨らんで、地震などにより破損したことによって、バルブができて、その水が溜まるということになりますよね。そうすると管の膨らんだ、真ん中に水が一番奥まで行って、また戻ってきて、しっかりと管と同じように循環するのかどうかというのを心配しているのです。だから管の真ん中に仕切りがあって、Uターンして、最後の水も綺麗に管と同じように回りますかと聞いているのです。バルブどうのではなくて、真ん中に仕切りがあるのかないのか、ただ入って大きな空間があって、そこに水が溜まって、いっぱいになつたらオーバーフローみたいな形でこちら側に流れていくという仕組みなのか、私はその淀む部分があるのではないかと心配しております。</p>
	<p>今回造る緊急貯水槽は、はなぶると同じ構造でありまして、この平面図の詳細図、A-A断面という図ですが、こちら見ていただければわかると思います</p>

	<p>が、流れと書いていると思います。左から下に行きまして、下の底のほうに配管が通っています、左から右に流れます。縦管のところで穴が開いています、そこから右から左に水が流れるよう循環するようになっています。</p> <p>管が一番奥まで行って、そこから水が出ると、そうしたら水は押し出す形で出るという。</p> <p>図面が小さいので見づらくて申し訳ありませんが、イメージとして、管が本管のほうから繋がってきています。繋がってきてすぐこの貯水槽の中に入ったところから、まずその貯水槽の中に水が全部開放されると、その貯水槽自体を管としてずっと流れています、行き止まりになっているところに、今度はその抽出する側の管の、立ち上がった管がその管に流れ込む穴が開いています。そこに全部入って結局押し出された水がそこに入って、また本管に戻ってという流れになっています。ですから、全体的にこの貯水槽の中を大きく流れが進んでいて、最終的にまた本管のほうに戻る穴が立ち上がっている管に入っているということです。今言っているA-A断面でいきますと、向かって右側のところからすぐこの貯水槽の中に水が入っていって、この左側にある端のほうに立ち上がった細い管があるのですが、この管のところに穴が開いていて、そこからまたその水が戻って本管に流れているとなっています。</p>
川 原 委 員	<p>ですが、恵み野の感覚で同じだと言われたので、そうではなく、こちらから入って、この大きい筒があって、こちらからまた水が出るという流れになっていたと私は思っています。ですからこれを、なぜこの管の中にパイプを奥まで入れるか。例えばこちらから入れさせて、恵み野と同じように、こちらから管を繋いで戻せばいいのではないか。貯水槽の中をなぜ、その管を使うのでしょうか。お金もかけて。外付けでここから水入れて、タンクの外側から出せば、恵み野と同じ感覚だと思うのですけど、違いますかね。</p>
長谷上水道課長 川 原 委 員	<p>構造的にははなふると同じ構造になります。 淀みがないのであれば了解。</p>
川 股 委 員	<p>わかりました。私も川原委員もそうですけど、後で図面で教えてください。それで結果で言うと、淀みなくいつも綺麗な水しか取れないということでいいですね。</p>
長谷上水道課長	<p>はい。</p>
吉 永 委 員	<p>先ほど早坂委員のところで、1キロ範囲という言葉が気になったんで、質問させていただきます。100m³で10万と言ったのですかね。一日当たり、1人3リットル扱うとすると、3.3万人分の水が貯水できるといったところで、1キロ範囲になると非常に狭い範囲だと思うのですが、計画によりますと、四つくるといったところで、どういうふうに市をカバーしていくのかを教えてください。</p>
長谷上水道課長 吉 永 委 員	<p>今2機目の緊急貯水槽ですけれども、今計画している、あと2機というのは、漁川の左岸側と、島松に1機ずつ整備する予定です。</p> <p>先ほどこの緊急貯水槽は概ね1キロ範囲の方がという答弁があったので、そ</p>

<p>長谷上水道課課長 吉 永 委 員</p> <p>柏 野 委 員</p> <p>武 藤 委 員 長</p>	<p>れに対して1日10万リッターは3,3万人分で、本市約7万人の人口で、どういうふうにこの市をカバーしていくのかを教えてください。</p> <p>今回緊急貯水槽の100トン、これについては1日1人に対し、3リットル、3日分を想定します。なのでこれで全部4ヶ所で賄えるとは考えておらず、このほかで、漏れてる地域については応急給水などの対応になると思います。</p> <p>承知いたしました。あとは給水車ということで、わかりました。</p> <p>日程2. 報告案件について終了。</p> <p>(理事者、執行部退席)</p> <p>【委員間協議】</p> <p>●日程3. その他</p> <p>先ほど質疑をしたところですが、地域未来投資促進法の恵庭市基本計画がこれまで示されていなかったというところと、これまで人材確保計画第2期に関してもタブレットに格納されてない状態でした。障がい福祉の計画だとかそういうものは所管から成案になりましたということで通知あると思うんですけども、この2点について経済部に資料として要求をした上で掲載していただけないでしょうか。</p> <p>はい、では事務局の方から資料を出していただくように申し入れます。</p> <p>次に、課長クラスで人事異動がありましたので、所管と懇親会をやりたいということで、常任委員長会議でそういう話が出ましたので、それぞれ次の2定期の常任委員会の終わった日の夕方になるかと思いますが、計画させていただきたいと思います。場所、会費は事務局にお任せしますので、また詳細決まりましたら、LINEWORKSに流れてくると思いますがよろしくお願ひいたします。</p> <p>委員長が閉会を告げる。</p>
-------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(14:49 終了)